



「夏の甲子園キャッチフレーズコンクール」グランプリ受賞!!

2018年4月18日(水)。宮崎日日新聞に文理科3年生の屋谷明唯さん(尚学館中出身)の記事が掲載されました。屋谷さんの作品は今後、紙面・テレビ・ラジオなどでの使用が予定されています。8月に開催される夏の甲子

園大会が近づくにつれてこのキャッチフレーズを目にする機会が増えてくることでしょう。第100回記念大会にこのキャッチフレーズと共に宮崎第一高校野球部が出場することを願っています。

【関連記事】

※別ウインドウが開きます

全国高校野球選手権大会 第100回記念大会 キャッチフレーズ

本気の夏、100回目。

本気の夏、100回目。屋谷さん(宮崎第一高) グランプリ

今夏で100回目の記念大会を迎える全国高校野球選手権大会(甲子園大会)のキャッチフレーズコンクールで、宮崎市・宮崎第一高3年の屋谷明唯さん(17)の「本気の夏、100回目。」がグランプリに輝いた。キャッチフレーズはポスターやCMなどに幅広く使われ、屋谷さんは「まさか選ばれるとは思わずともうれしい」と喜んでい

る。コンクールには全国の高中生から過去最多の1万1565通の応募があり、優秀賞100点の中から選ばれた。屋谷さんは、延岡市・延岡学園高が夏の甲子園で準優勝に輝いた2013年の95回大会のとき、系列校の尚学館中1年だった。甲子園球場へと応援に駆け付けたとき



を振り返り、「球場や観衆の規模に圧倒されたことや、選手が頑張っていた姿がいまも忘れられない」と話す。

作品は国語の授業の一環で昨春秋に応募した。「甲子園での風景が目の前に浮かび、キャッチフレーズはすぐにひらめいた」と屋谷さん。グランプリを受賞した喜びを家族やクラスメート、地元の友人たちと分かち合ったという。屋谷さんは「甲子園にはぜひ第一高が出場してほしい」と次なる期待を膨らませている。

(後藤真之介)

甲子園記念大会
キャッチフレーズ